

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	教職教育研究センター
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置（院・専院）
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント（FD）の実施状況と有効性

○2009年度からの目標

1. 教育相談活動や学校インターンシップの指導等、教育現場からの期待や要請に充分に応えるために、専任教職員等の教的充実を図り、バランスの取れた指導体制を構築する。
2. 学校教員への採用数の増加を図るために、現状の検証を行ったうえで、専任教員を中心に増員を図り、養成・採用段階の指導相談機能を充実させる。
3. 教職大学院施策に留意し、教育学部と可能な限りの連携を取りながら、変動する文部科学施策に対応できるような教員組織の編成をすすめる。

○指標

1. 教育相談活動や学校インターンシップの指導等の対応実施状況。
2. 教員（専任及び講師）への学生・卒業生の採用数及び模擬面接指導等の授業外講座等の開催・参加者数。
3. 教職課程6年制への検討・対応状況と教育学部との連携状況。
4. 1～3の目標達成のために2013年度までに教職員の増員を図り、上ヶ原キャンパスに専任教員を、またKSCに専任教員及び専任職員の配置をすすめる。